

冠句

西村 吟雪

藤本 淡雪

選

特選 試みる 妻の寝込みて立つ厨くりや

蒲生郡竜王町 松瀬 文恵

(評) 昭和生れの男性は、特に女性の城に踏み入ることなく育ちました。思いもよらず家族が体調を崩され初めての挑戦。新しい自分の姿に妻自身も安心しておられることでしょう。

特選 ひかる湖 甍に似たり沖の波

長曽根南町 高 恵三郎

(評) 日差しが燦々と瓦屋根に降り注ぐ如く、湖上を照らす。大らかな自然の営み、波は沖から岸へと、波の様子を上手く捉えておられます。

特選 試みる 奉仕に生きるラストラン

蒲生郡竜王町 松瀬 竜子

(評) 生かされ生きて、早や高齢者。物寂しい日々生き甲斐を見つけ、老躯に相談しながら昔取った杵柄を生かし、社会に恩を返す。終章の日々たのしく。

入選 念を押す 医師の説明聞きながら

鳥居本町 寺村 美恵

(評) 告知に惑い、自分や家族の為に、明日の生き方治療方法等、真剣に相談しておられる様子が手に取る様に解ります。

入選 ひかる湖 大志を胸に周航歌

田附町 大谷 みつ子

(評) 学業を終え故郷を後に旅立つ決意。見慣れた琵琶湖。学友恩師の歌声に送られてホームに立つ吾。

入選 念を押す 老いの歩幅で弾む靴

金沢町 荒見 金一

(評) 日々自己を確かめ、背伸びすることなく暮すことが大切。急がず焦らず、大地を蹴る如く、今日も自分と向き合い、明日に向けて人生を楽しむ。

入選 試みる 違う自分になりたくて

稲部町 辻 昭子

(評) 自分本位で来た人生。初めて味わう大きな挫折。明日へ自我捨て人生を見直しハンドルを切り替へ、新たな人生に挑戦する。

入選 念を押す 納得ゆくまで橋叩く

新海町 今堀 敏子

(評) 幾つに成っても悩みは付きまとう。揺れる心を確かめ神仏に託す、失敗を怖れ慎重に事を運ぶ。

佳作 試みる 顔認証でドア開ける

長浜市 野口 成人

佳作 念を押す 角度を変えて見る姿勢

蒲生郡竜王町 苗村 厚子

佳作 ひかる湖

航跡一本向かう魚えり

普光寺町 河合 仙治

佳作 ひかる湖

花吹雪舞う城の街

犬上郡豊郷町 西山 節子

佳作 念を押す 靴紐直す七合目

蒲生郡竜王町 松瀬 博美

佳作 念を押す 今の君への信頼度

愛知郡愛荘町 宮地 学

佳作 試みる 遅くはないと好きな趣味

正法寺町 金子 君子

佳作 試みる 時代おくれもそこそこに

稲里町 勝見 政恵

佳作 ひかる湖 学びの小五浪まくら

犬上郡豊郷町 伊香 とし子

佳作 ひかる湖 青春の日の亡夫まぶし

大藪町 大塚 しのぶ

佳作 念を押す 現役ですと錆びた針

米原市 西尾 辰之

佳作 念を押す 滲み出ている親心

大藪町 清水 慶昭

佳作 ひかる湖 荒神山に飛ぶカイト

稲里町 覇流 不良者

佳作 試みる 天辺めざして滾る汗

犬上郡甲良町 上野 初子

佳作 試みる この壁破り殻を脱ぐ

清崎町 辻 哲雄

佳作 ひかる湖 市民ランナー春うらら

日夏町 大菅 恵美子

佳作 試みる 激辛と言ふ新世界

京町一丁目 堀井 叔子

佳作 試みる 背広着こなす新社員

極楽寺町 古川 寛二

佳作 試みる 義母のレシピの大根漬け

普光寺町 河合 淳子

佳作 念を押す 君への思い断ち切れず

清崎町 柳本 和子

佳作 念を押す 進路は青く澄み渡り

鳥居本町 滝口 寿美夫

佳作 ひかる湖 妻のスケッチみずみずし

戸賀町 四ツ門 信夫

《総評》

彦根市民文芸冠句投句者の皆様こんにちは。

今年度は、藤本淡雪先生と一緒に選をさせていただきました。今年は、昨年より投句者が三名減りましたが、皆どの句どの句も素晴らしい甲乙つけがたく有意義な勉強の機会をいただき有難うございました。又今年は新しい傾向の句が多く見受けられ次回が楽しみです。

冠句は、川柳や俳句と同様の五、七、五、の短詩文芸です。冠題の上句五文字に対し中句、下句の十二文字で詠み上げる、生活の詩と先輩から教わりました。何時でも何処でも紙と鉛筆一本有れば詠むことが出来ます。新しい時代へ新しい冠句をどんどん詠まれます様お祈り致しております。

西村 吟雪



選者吟

ひかる湖 近江を奏づ雲の峰

藤本 淡雪

試みる 乗ってくれない縄電車

藤本 淡雪

念を押す 介護は互い頼み合う

西村 吟雪

